

水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課

H27.10.30

紀の川大堰の「水ときらめき紀の川館」に河南水道協議会総務部会の方々が見学に来られ、当事務所からは流水調整課が対応しました。

皆さまから、紀の川大堰の必要性や役割について十分理解できたと喜んでいただき、今日の研修をそれぞれの場所で役立てられるように考えていきたいということでした。

また、見学時間がたくさんあったことから、時間をかけて魚道を回り、悠々と流れる紀の川と大堰を間近で感じながら、笑顔の時間を過ごしていただきました。

団体見学概要

日時：平成27年10月29日(木)
10:00～11:50

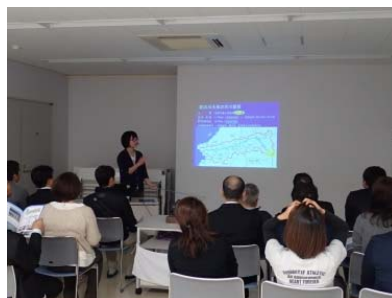
会場：水ときらめき紀の川館

参加人数：17名(引率の方1名含む)

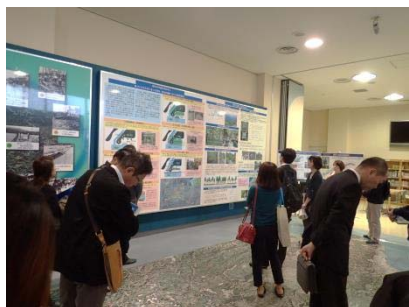
団体名：河南水道協議会総務部会様

1. 紀の川大堰概要説明

紀の川の概要、目的について
スライドを用いて説明



2.館内展示物の見学



1階床上的の航空写真、壁一面のパネル、紀の川の歴史や堰の役割などじっくり読まれる方も。



2階操作室見学

職員の説明を聞いている様子。



3階展望デッキにて。秋の空に白と水色の紀の川大堰が美しく映えます。

量水塔や魚道などもここから見渡せます。



3.館外の魚道見学



質問

Q1. 紀の川大堰はどれくらいの長さがあるって、また、歩いて渡れるのでしょうか？

A1. 管理橋で端から端まで歩いて渡ることができます。延長は542mあります。

Q2. 魚道の必要性を教えてください。

A2. 普段主ゲートが降りているため、魚が自由に行き来することができないため、自然に魚が往来できるように魚道を造りました。紀の川に生息する水生生物に優しい川にするのが紀の川大堰の目的であり役割のひとつなのです。

